サーバス九州

日本サーバス九州支部会報　No.163　　2014年10月21日発行　支部長　緒方智子

広島の土砂災害、御嶽山の突然の噴火とこのところ自然災害続きで自然の怖さをあらためて教えられました。みなさまのお宅にお変わりはなかったでしょうか。

サーバス九州はビッグイベントである秋例会も終え、今年度の最大の課題であるホストリストデジタル化に向けた取り組みとアジア地区のサーバス訪問に向けての準備を開始しました。

さて、会報10月号（163号）をお届けします。今回の会報はみなさま全員からお返事をいただかなければいけない事案もあって、久しぶりに全員に紙媒体でお届けします。（重複にはなりますがデーター管理をされている方もあるかもしれませんので、デジタル版も送信します）

以下のことを掲載しています。どうぞよろしくお願いいたします。

1　サーバス九州秋例会を終えました（報告）
2　トラベラー受け入れ2件（報告）
3　はじめてのサーバストラベラリング（報告）
4　台湾訪問について
5　お知らせとお願い＜日本サーバス関係＞＜サーバス九州関係＞
6　サーバス九州現況
7　サーバス九州連絡先等（常掲）

1.サーバス九州秋例会を終えました！

概要
期日：2014年9月27日（土）～28日（日）
場所：大分県湯布院・佐伯市つるみ山荘　（全館借り切り）
参加費：1泊2食、温泉付き7000円　（宿泊代＋夕食＋飲み物＋朝食＋昼食代補助）夕食はセルフクッキング：BBQと黒豚のしゃぶしゃぶ食べ放題
参加者：台湾4人、韓国10人、 会員＋家族＋友人23人

サーバス九州秋例会報告

長崎　Y会員

昨年の竹田での秋例会で、来年は由布院でと決まり、大分のメンバーの方々には早くからお世話いただき、無事湯布院での例会が実施できました。

今年も他の国のサーバスとの交流をと呼び掛けたところ、台湾から4名、韓国から5組の夫婦の参加がありました。韓国からは昨年竹田でお会いしたカップルもいらして再会を喜びました。それぞれ

のホームステイ先からホストと一緒に湯布院の宿泊場所である佐伯市つるみ山荘に集合しました。九州からは未会員も含めて 23 名の参加で総勢 37 名でした。

夕食はベランダでのバーベキューと室内でのしゃぶしゃぶでした。バーベキューではインド人留学生のＪさんが本場味付けのタンドリーチキンも準備し、男性が大活躍。室内では女性たちが黒豚のしゃぶしゃぶに舌鼓。おしゃべりもはずんでみ手も口もよく動き、どちらもおいしくいただきました。一回の食事でこんなに大量の肉を食べたのは初めてでとても贅沢をした感じでした。

恒例の懇親会は、大広間で、K さんの名司会で行われました。佐賀のメンバーによるオカリナ演奏から始まり、韓国からは「ネ・ナイガ・オッテソ(私の年がどうだっていうのよ)」という韓国で流行っている歌をふりつけを交えて歌ってくれました。歌詞を日本語に訳してプリントしてくれたので、意味もわかり、楽しく聴けました。台湾の女性はカラオケで日本語の歌を歌ってくれましたがマイクが準備できなくて残念でした。幕間を利用したＫＡ会員が手品とクイズ。インドからの留学生であるＪさんは民族衣装をつけ、プロジェクターを使ってインドの紹介をしてくれました。まだ準備されたものもあったようですが、時間の関係で次の機会にまわすことにしてお開きとしました。

翌朝目が覚めた時、昨夜話にあった朝霧が出ていて感動でした。朝風呂に入り、朝食を 2 交代でとってから、車に分乗して宿を出ました。地元の人しか知らないような無料駐車場に車を置いて、それぞれ湯布院の街中や金鱗湖周辺の散策を楽しみました。昼食を金鱗湖のそばの洋食レストランでとってから、それぞれ帰途につきました。

宿泊の予約、夕食の買い出しから準備など一手に引き受けてくださった大分の方々、大変お世話になりました。前後にホストを引き受けてくださったメンバーの方々、またそれらをコーディネートしてくださった役員の方々本当にお疲れさまでした。

２．トラベラー受け入れ２件

福岡　T 会員

ＰＪＨさんご夫婦（韓国）

2014 年 5 月 2 日～3 日 2 日の夜 9 時近くに JR 折尾に迎えに行きました。すぐ会えたのですが、折尾に着いてご主人が大きなリックサックを博多のプラットホームに置き忘れたことに気付き慌てました。すぐ折尾の駅員さんに連絡を取ってもらったら、落とし物として届いているようで一安心しました。日本人の正直さについて感動していました。P さんが小さい頃、お母さんから日本人は他人の物には手を触れないと聞いていたそうです。韓国ではフェリーの事故、地下鉄の事故が立て続けにあり、国がうまく動いてないけど、日本には希望がありますねとおっしゃっていました。3 日は午前中、藤の花で有名はお寺か日本庭園にお連れする予定でいましたが、博多に忘れたリックサックを早く取りに行きたいので、どこへも行かずまた折尾駅に向かいました。P さんは高校の英語の先生で、日本語もお上手でした。ご主人は会社の経営者でゆったりした方でして感じのいいご夫婦でした。九州メンバーで韓国訪問をした時、去年は M さんと娘さんをホストし、その前年は A さんご夫婦をホストしたそうです。

ＣＫさんと 3 人のお姉さん（65, 58, 53 才）（韓国）

2014 年 5 月 3 日～4 日。 C さんは九州のサーバスメンバーが韓国訪問した折とてもお世話をして下さった方です。大分、宮崎と回って我が家に来られました。旅行中買い物をする時間がなかったのか、夕食前に買い物をしたいということでした。幸いすぐそばに 24 時間開いているスーパーが 2 つありお連れして 1 時間後に迎えに行きました。C さんは 3 人のお姉さんの買い物に引っ張り回され、くたくたになっていたようです。夕食は 9 時過ぎになってしまいましたが、みなアルコールが強く、話が

弾みました。お姉さんたちは、初めは日本に来ることをためらっていたそうです。（原発事故などの事で）でも、会った人達は皆いい人ばかりで、日本に対しての見方が変わり、来てよかったと言っていました。翌日は、C さんはメキシコへ出張のため羽田に、お姉さんたちはプサンに帰るため博多に向かいました。短い時間でしたが、楽しいひと時でした。

３．はじめてのサーバストラベリング

大分県　H トラベラー会員

ポーランド・フィンランドの旅

～サーバスのホームステイをとおして～

今回の旅行は私にとって初めてのヨーロッパ旅行であり、ホームステイ体験だった。ワルシャワでのホームステイ３泊、ホテル１泊。クラコフでのホームステイ３泊、ホテル１泊。ヘルシンキでのホームステイ３泊、ホテル１泊。合計１２泊。ホームステイ９泊、ホテル３泊の旅であった。

ワルシャワのホームステイ先ホストは、S と A 夫妻であり、夫の A の父（８０歳前後で脳梗塞で言葉が不自由、車椅子生活）そして、一匹の老犬、一羽のウサギ、一羽の文鳥である。住まいは６０年は経過しているかなり古い２階建ての長屋式である。S は地元の公立高校で英語を教える教師であり、自宅では英語塾を開いている。彼女は若いころアメリカで育った経験からアメリカ英語を流暢に話す。夫は自宅でコンピューターを使い設計関係の仕事をしている。

S は初日、私たちをワルシャワ市内に案内してくれた。第二次世界大戦で壊滅的な被害を受けてから再建された美しい教会や宮殿などを一つひとつ詳しい歴史の話と共に説明してくれた。まるで歴史の専門家のように詳しい年代と共に次から次へ泉のように湧き出る英語の説明を理解するのは、私にとってかなりエネルギーと労力を要するものであった。

夜、朝の食事は夫の A も積極的に準備にかかわっていた。主にパンと数種類のハム、スライスされたトマト、パプリカ、塩、胡椒という簡素なものだったが、ハムやトマトを挟んで食べるパンはとてもおいしかった。

二日目の戦争博物館はその施設の大きさと展示内容訪れる人の多さから、第二次世界大戦でポーランドがドイツから受けた被害がいかに大きく屈辱的なものであったかを知らされたし、忘れてはならぬもの、それを教訓として現代に生かさなければならないというポーランドの強いメッセージを感じた。

最終日、S の家を出る直前、彼女は夫と結婚したときの写真や夫の両親が結婚したときの写真、その家に１００年前から置いている防御用の斧などを見せてくれ、夫の家の歴史を説明してくれた。ワルシャワのホームステイをとおして、年老いた親の世話をしながら夫婦がそれぞれの仕事をして生活をしている様子、退職後の自分なりの夢をもっていることを聞き、日本に住む私も同じような状況にあると思った。

クラコフでのホームステイはワルシャワとは１８０度異なったものだった。ホストの A はマンションのひとり住まいである。妻子は仕事の関係で別居中である。コンピューター関連の仕事をしている彼は私たちのホームステイ中も仕事のため、朝、部屋の鍵を置いて出勤した。私たちはサーバスのメンバーとはいえ、遠い極東から来た「どこの馬の骨か」わからぬ者にポンと鍵を置いていく彼を見て、信頼感を基本として持ってくれていることに対し感謝の気持ちでいっぱいだった。

最終日の夜は近所のピザショップにピザを買い出しに行き、好みのビールを数本買い込んで、３人でパーティーをした。クラコフはビールが安い。そして、銘柄がたくさんある。A お勧めのビールを飲みながら、日常生活の話から互いの写真を見せながら家族の話に花が咲いた。A は自室からコンピューターをもって来て、収められた写真を見せ、妻や子ども、彼の弟たちとキャンプに行って楽しん

だ様子などを生き生きと語ってくれた。私も、「娘さんはほんとうにかわいいね」と笑顔で伝えた。夜遅くまでビールを飲みながら会話し、翌日二日酔いとなってしまった。

ヘルシンキのホストはＰとＭ夫妻である。２０歳になる大学生の娘は同居しているが、本格的に勉強を始める前に半年間休学して、ヨーロッパ旅行に出かけるということだった。二匹のかわいい犬はいつも私たちにまとわりついてきた。P は老人福祉の仕事をする公務員であるが、現在３週間の休暇をとっている最中。妻のＭは大学の図書館司書で、毎日スケジュールもあり忙しそうである。住まいは、静かな住宅地にある２棟続きの２階建て、家の中は天井が高く、窓からの採光が良い明るい建物である。

初日の午後、P は自分で作ったスープをご馳走してくれた後、私たちの意向どおりフィンランドの自然を体験させてくれた。約３時間かけて自宅から歩いて岬めぐりを案内してくれた。既に夏が終わった海岸でスカイセイリングに興じる人々、湖、白樺の林、ブルーベリー茂る小道、離れた島には個人所有の住居が見える。P の独特のゆっくりとした英語の語りとともに北欧の自然を感じた。

朝食はパンとチーズとハムとコーヒー。簡素だがおいしい。夕食は鮭を蒸し焼きにしたものやパスタとミートソース風のものが出された。ビールとウォッカもいただいた。最後の夜、夕食後、私たちはたくさんの話をした。M の大学司書としての仕事－書籍の選定から購入まで責任ある仕事であること。高齢化社会を向え老人福祉などの問題は日本と同じであること。福祉国家としてフィンランドの誰もが平等に生活できる条件を提供しようとする考え方。累進課税システムやＶＡＴ(value-added tax)のこと。日本の原発事故や水俣に関する質問。など、眠くなるまで話が続いた。

最終日、ヘルシンキ大学の図書館まで見送ってくれ、別れ際にＭが、「３日間、いろいろと気を使って疲れたでしょう」と言ってくれたときには、私たちの世話をしてくれた上に気遣ってくれていることに感謝し、涙が出た。

この旅行で、ホームステイ先のホストたちはそれぞれの家庭状況に応じた待遇をしてくれた。彼らの日常や生き様を感じることのできる待遇であった。そのふれ合いをとおして、遠く離れたところに住む文化も違う人間同士が、変わらぬ人への信頼感やぬくもりを共有することができた。同世代であったことから、人生の価値観にも共感した。さらに、国の歴史や地理的環境が異なるため、たくさんの気づきがあったことは言うまでもないし、もっと歴史的、地理的事実が知りたいという学習意欲にも駆られた。この旅は、ひとことで言うと、「異文化の体験と人のぬくもりの再認識」であった。

このような貴重な体験をするきっかけを与えてくださったサーバス会員の先輩に心から感謝します。

４．台湾訪問について

4 月の支部会議でアジアサーバス訪問が提起されていたことを受け、秋例会でサーバス台湾からの参加者と意見交換し、話を具体化しました。

実施時期：2015 年 1 月 23 日（金）～2015 年 1 月 27 日（火）
日程概略(案)：23 日台北ホテル泊　24 日サーバス宅ステイ（台北）　25 日花蓮へ移動。花蓮サーバス宅ステイ　26 日台北 or 桃園へ移動。桃園ホテル泊
利用飛行機：エバー航空
出発：福岡空港発 1 月 23 日(金) 12 時 15 分　着 13:50 分（フライト時間 2 時間 35 分）集合：福岡空港国際線ターミナルエバー航空カウンター付近に同日午前 10 時集合
帰着：福岡空港着 1 月 27 日(火) 午前 11 時 15 分　空港で解散
費用概算：航空運賃往復 33,100＋ホテル 2 泊＋移動費（台北⇔花蓮）＋その他
5 万円を事務局で預かり、事後精算方式
費用に含まないもの：個人でとる食事代等個人的費用、保険料等
申し込み：航空券購入の関係で一次締め切りを 11 月 3 日とします。最終締め切りは 11 月 15 日。航空券は HIS を通じて随時押さえていきたいと思います。
参加希望の方はパスポート番号とパスポート通りのローマ字表記の名前を緒方宛にメールでお申込みいただき、お知らせする緒方の郵貯口座にお金を振り込んでいただく

方式をとりたいと思います。
HIS からは申し込まれた方に対して別途手配旅行申込みのようなものが届くと思いますので、そちらは各自記入されて HIS 宛に送信してください。代金の払い込み等は一括して緒方の方で行います。参加希望者 5 名以上で催行にします。

５．お知らせとお願い（日本サーバス＆サーバス九州）

1　ホストリストのデジタル化に向けて
別封筒に① 田中会長から全会員宛の文書　②IT 担当者（中崎会員）からの文書　③各会員　のホストリスト記載事項に関する「返信はがき」
以上 3 点を別封筒に入れています。ご一読の上、全員のみなさんに返信をお願いいたします。

2　中国サーバスの例会(11 月 14 日 15 日）案内が日本サーバスに届いています。メール受信をされている方には転送いたします。
メールをされていない方で興味があられる方は緒方までご連絡ください。

3　多分失念されているのではないかと思いますが、2014 年の会費が未納の方が 12 人あります。2013 年が 3 人です。個別にもご案内を差し上げますが納入方、どうぞよろしくお願いいたします。会計年度は 1 月から 12 月までです。年度初めに納入していただくことになっています。年額 3000 円です。どうぞよろしくお願いいたします。口座番号はこの会報の最後に記しております。

4　来年度の九州支部の会議は日本サーバスの国内会議と時期を合わせます。予定を組んでおいていただくと助かります。よろしくお願いします。
時：2015 年 3 月 14 日(土）午前 10 時～12 時 30 分　九州支部会議
2015 年 3 月 14 日(土）午後 13 時 30 分～翌日(日）12 時　日本サーバス国内会議
場所：福岡市西南大コミュニティセンター（予定）14 日夜、西南大で懇親会を予定しています。
他地区のサーバスメンバーと交流をお楽しみください。

６．サーバス九州現況

サーバス九州現況（2014 年 10 月 21 日現在）
会員数 60 家族
＜内訳：大分 15、熊本 6、佐賀 4、長崎 10、福岡 14、宮崎 11＞
＊＊サーバス九州では年度始め（1 月）に 1 年分の会費をいただいていますので、途中で退会の申し入れがあっても年度末までは会員ですので、会報等お届けいたします。